

西暦 2024 年10月16日

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報の公開について

当センターでは、下記の研究を実施しております。この研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に基づいて、研究対象者となられる方から同意をいただくことに代えて、情報を公開することにより実施しております。この研究に関するお問い合わせ、研究参加への拒否依頼などがありましたら、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

記

研究機関名	地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪母子医療センター
研究課題名	妊娠期間調整投射法による出生体重予測の精度と低出生体重児予測能・巨大児予測能の検討
研究代表者 氏名・所属部署	地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪母子医療センター 林周作・産科
研究対象者 (研究対象者等が自身が対象者であると容易に知り得るように記載)	2019年1月から2023年12月に、当センターで妊娠36週以降に分娩された単胎の妊婦さんとその赤ちゃん
研究期間	研究実施許可後～2025年3月
研究目的・方法 (意義、目的、方法、試料等の二次利用等)	低出生体重児や巨大児を出生前に予測することは、より適切な分娩管理につながる可能性があります。出生体重の予測方法の一つとして、超音波検査による推定胎児体重とリファレンスを用いた妊娠期間調整投射法がありますが、日本の標準推定胎児体重計測法を用いた場合の精度はいまだ検討されていません。本研究では、日本超音波医学会の推定胎児体重計算式およびリファレンスを用いた妊娠期間調整投射法による出生体重予測の精度および低出生体重児予測能・巨大児予測能を評価します。 本研究を行うことによって、妊娠期間調整投射法による出生体重予測の精度および低出生体重児予測能・巨大児予測能を知ることができます。 研究対象となる方の診療録から情報収集を行い、統計的解析を行います。個人情報の保護のために診療録の情報は匿名化の上で取り扱います。また研究成果の公表に際しては個人が特定されることはありません。
研究に用いられる試料・情報の項目や種類	診療録情報(年齢、経産回数、妊娠前 Body Mass Index、耐糖能異常、子宮疾患、妊娠36週の推定胎児体重・胎位・児の下降度、妊娠40週の推定胎児体重、分娩週数、分娩適応、児出生体重、児のApgarスコアなど)
研究計画書などの研究関連資料の入手方法、または閲覧方法	本研究の研究対象者(等)が、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手または閲覧をご希望される場合、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護等に支障のない範囲で入手、または閲覧ができます。下記の間合せ先までご連絡ください。

個人情報の開示に係る手続き	本研究の研究対象者(等)から、個人情報の開示の求めがあった場合、保有する個人情報のうちその本人に関するものに限って、地方独立行政法人大阪府立病院機構個人情報の取扱及び管理に関する規程に基づいて、開示手続きをとりますので、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。
照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先	地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪母子医療センター 産科 林周作 電話 0725-56-1220 (代表)